



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ「かわまちづくり」と蓬萊橋周辺整備

年間 15 万人の観光客が訪れ、「世界一長い木造歩道橋」としてギネス認定されている蓬萊橋に、来春 3 月、お休み処兼物産販売所がオープンします。

全長 897.4 m にちなみ、「厄なしの橋」としても多くの観光客に愛されている蓬萊橋ですが、これまでは法律の制限もあり、休憩する場所も「島田の逸品」や特産のお茶をお買い上げいただく場所も設置できませんでした。多くの観光客が訪れる中で、楽しみながらお金を使っていただく観光客でにぎわう「ぼんぼり祭り」く仕組みをつくること、これからの「観光で稼ぐ」という取り組みの中での大きな課題でした。



これらの課題を解決しようと、国土交通省静岡河川事務所の協力を得ながら、昨年 5 月に「島田市大井川ミズベリング協議会」を設立。蓬萊橋を中心とする大井川の魅力や価値を生かした「憩いの場」「にぎわいの場」の創出に向け、市民や民間事業者の皆さんと一緒に検討を進めてきました。

今月は、島田市が目指す「かわまちづくり」とは何かをお話すると共に、蓬萊橋周辺の将来像をお伝えしたいと思います。

「かわまちづくり」とは、地域の創意工夫により景観、歴史、文化および観光基盤などの「資源」を生かし、行政・民間事業者・地元住民・河川管理者が連携して、「河川

空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指す取り組みをいいます。平たくいえば、蓬萊橋を中心に、市の中心部に「観光・交流」「にぎわい」「憩い」の場を創出する水辺空間を整備し、地域の活性化につなげていこうという取り組みです。水辺は、その使い方によって、新たな価値を生み出す可能性を秘めています。地域の資源をみんなで生かし、地域の「顔」そして「誇り」となる水辺空間の形成を目指し、国土交通省の支援を受けながら「かわまちづくり」を推進してまいります。

今年度は、お休み処兼物産販売所と番小屋の新設、観光トイレのリニューアルを実施し、ライトアップ設備も新たに設けます。さらに来年度以降には、蓬萊橋左岸の橋のたもと（高水敷）に、駐車場やイベント広場などを整備する計画です。左岸側の整備完了後は右岸側の整備へと移り、その後、島田市博物館前の高水敷へと整備箇所を広げてまいります。



お休み処兼物産販売所イメージ図

水辺空間整備後は、観光客はもちろんのこと、市民の皆さんにも大井川とその自然に触れ合える憩いの場やふれあいの場として活用していただければと考えております。また、オープンカフェや軽トラ市、工夫を凝らしたイベントの開催など、多くの皆さんに関わっていただける場所を目指してまいります。まずは、来春の観光シーズンをご期待ください。

みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などを紹介します。

写真愛好家の有志 22 人が所属する「杉クラブ」では、写真展覧会「遊迷展」をプラザおおりで開催しました。

私たちは、近代化の世界の中でも良い物は必ず残ると信じ、「継続は力なり」とフィルム写真にこだわり続け、現在に至っています。50 周年を迎える今回は、発足者の杉浦士郎氏・白滝仁久氏と歩んだ半世紀を振り返りました。

現役会員の力作に加えて、勉強会や撮影旅行など、これまでの活動風景や資料も展示した会場には、多くの方が

足を運んでくれました。

昭和 43 年発足。これほど息の長いフィルム写真専門のクラブは珍しくなりましたが、これからも仲間と切磋琢磨しながら、見る人の心に残る写真を撮り続けていけたらと思います。（会員 鈴木邦彦 さん）

